

事業番号	081
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	雇用対策事業						担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	商工観光課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	商工労政係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 産業振興		29 商工業		4 雇用対策・勤労者福祉を充実する				
		副目的									
	予算区分	款	5	項	1	目	1	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者に対して雇用の安定と福祉の向上を図る。 ・求職者・求人者に対して就業の促進を図る。 									
	内容 (手段)	<p>【平成24年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒就職者激励会委託料 小牧市雇用対策協議会に委託し、市内事業所に就職した学卒者を対象に新卒就職者激励会を行った。615千円 ・ふるさとハローワーク管理業務 労働局と共同で名鉄小牧駅ビル内に「小牧市ふるさとハローワーク」を開設し、ハローワークと同様に、愛知県内の求人情報を端末機で検索できるほか、相談員による職業相談、職業紹介の業務を行った。 ・求職者支援セミナーの開催 失業者(求職者)を対象に、履歴書の書き方など、求職活動に役立つ内容の講座を6回開催した。 <p>【24年度その他直接経費の内訳】</p> <p>講師謝礼(75千円)、雇用対策協議会委員謝礼(23千円)、普通旅費(7千円)、消耗品費(99千円)、通信運搬費(169千円)、事務機器借上料(111千円)、地域職業相談室借上料(1,622千円)、手数料(48千円)、地域職業相談室電気料金負担金(258千円)</p> <p>【25年度直接経費の内訳】</p> <p>講師謝礼(90千円)、雇用対策協議会委員謝礼(77千円)、普通旅費(7千円)、消耗品費(243千円)、通信運搬費(209千円)、手数料(52千円)、求職者支援セミナー託児委託料(20千円)、事務機器借上料(111千円)、地域職業相談室借上料(1,623千円)、地域職業相談室電気料金負担金(261千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	直接経費	千円	3,267	3,048	3,027	2,693	
	費用	正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10
		人件費	千円	533	533	533	533
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	1,457	1,506	1,521	1,705
	費用合計	千円	5,257	5,087	5,081	4,931	
対前年比	%			96.7	99.8	97.0	
財源	一般財源	千円	5,257	5,087	5,081	4,931	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	求人・求職相談、検索機使用件数	件	目標	30,000	30,000	30,000
実績				27,990	30,272	28,830	
業	求職者支援セミナー参加人数(延べ人数)	人	目標	—	—	120	120
			実績	—	20	73	
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			就職件数	人	目標	—	—
業	求職者支援セミナー参加者後就職につながった人数	人	実績	546	507	437	
			目標	—	—	—	—
業			実績	—	—	6	
			目標	—	—	—	—

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては、毎日100人近くの来所者があり、多くの相談、検索機の使用等の対応ができた。 ・求職者支援セミナーを6回実施し、延べ73人の参加があった。 ・求職者支援セミナーを受講後、44人にアンケートの依頼をしたところ、30人から回答をいただき、その内セミナー受講後6人が就職につながったと回答をした。 				
		事業実施における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについては、景気の動向に左右される事業でもあるが、随時求職者に適切な情報提供ができるよう努める必要がある。 ・求職者支援セミナーについて、より多くの方が就職につながるようなセミナーを実施する必要がある。 				
		事業を縮小・廃止したときの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークは、毎日100人近くの来所者があるため、廃止すると利用者は春日井まで行く必要があり大きな影響を受ける。 ・小牧市民がより近くで求職活動に対する知識を学ぶ機会が失われ、市民サービスの低下につながる。 				
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒就職者激励会を平成25年度より廃止した。 ・求職者支援セミナーの内容について、6回の内1回を企業の採用者側を対象にしたセミナーを実施する。また、引き続き参加者に対してアンケート調査を実施し、より就職につながる内容でのセミナーを開催する。 			
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークは、毎日多くの来所者があるため事業を継続する。 ・求職者支援セミナーの参加者も増えており、必要なセミナーであると考えているため。 					
	26年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとハローワークについてはPR活動により利用率を上げるよう努める。 ・求職者支援セミナーについてセミナー参加者数を増やし、内容についてもより就職につながるような内容で実施をする。 					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。24年度外部評価を受けた改善が進められており、維持とする。